

ホクコークリンチャー™EW

■種類名：シハロホップブチル乳剤	
■有効成分：シハロホップブチル	----- 30.0%
■化管法指定物質：シハロホップブチル [第1種]	----- 30.0%
ナフタレン [第1種]	----- 3.6%
メチルナフタレン [第1種]	----- 9.9%

■登録番号：第19197号
■毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)
■登録初年：1996.04.25
■性状：類白色粘稠乳濁液体
■有効年限：5年
■包装：100mℓ×30本、500mℓ×20本

TM コルテバ・アグリサイエンスならびにその関連会社商標

【特長】

- 発芽後から6葉期までのノビエを防除できる（直播水稻、稲(箱育苗)では5葉期まで）。
100 mℓ/10a 散布で、6葉期のノビエまで有効（直播水稻では5葉期、無人航空機散布では4.5葉期）
- ノビエに極めて高い殺草力を発揮する一方で移植栽培・直播栽培を問わずイネに対して高い安全性を有する。
- ノビエのほか、キシュウスズメノヒエ、アゼガヤなどのイネ科雑草にも有効。

【適用内容】（2024年11月末日現在）

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	シハロホップブチルを含む農薬の総使用回数	
			薬量	希釈水量				
移植水稻	ノビエ キシュウスズメノヒエ アゼガヤ	移植後20日～ ノビエ6葉期 但し、収穫30日前まで	100 mℓ/10a	25～100 ℓ/10a	2回 以内	湛水散布 又は 落水散布	3回以内	
	ノビエ	移植後20日～ ノビエ4.5葉期 但し、収穫30日前まで		0.8～1.6 ℓ/10a		無人航空機 による散布		
直播水稻	一年生イネ科雑草	は種後10日～ ノビエ5葉期 但し、収穫30日前まで		25～100 ℓ/10a		0.8～1.6 ℓ/10a		雑草茎葉 散布又は 全面散布
		は種後10日～ ノビエ4.5葉期 但し、収穫30日前まで		無人航空機 による散布				

作物名	適用雑草名	使用時期	希釈倍率	使用液量	本剤の使用回数	使用方法	シハロホップブチルを含む農薬の総使用回数
稲(箱育苗)	ノビエ	は種後10日～ ノビエ5葉期	1000倍	育苗箱 (30×60cm) 当り18mℓ	1回	雑草茎葉 散布 又は 全面散布	3回以内

【効果・薬害等の注意】

- 散布液は使用当日に調製すること。
- 本剤は乳濁性液体なので、使用の際は容器をよく振って均一な状態にしてから所定量を取り出すこと。
- 本剤の使用の際は展着剤を加用すること。
- 雑草茎葉にかかるよう散布すること。
- 本田内に再生するキシュウスズメノヒエでは再生茎3～6葉期が本剤散布の適期である。また、畦畔より侵入するキシュウスズメノヒエ防除では畦畔からのほふく茎1m以内の株全体に株元まで散布すること。
- アゼガヤには、草丈60cmまで有効なので時期を失ないように散布すること。
- 広葉雑草には効果がないので、広葉雑草が混在する圃場ではそれらに有効な剤と組み合わせて使用すること。
- 落水条件で散布する際はまきむらのないように均一に散布すること。
- 湛水条件で散布する際は原液散布では効果がないので、散布液を使用当日に調製し、水の出入りを止めて湛水のまま均一に散布し、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm程度)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないこと。
- 漏水田(減水深2cm/日以上)では薬害が発生するおそれがあるので、使用しないこと。
- 少量散布(25～50ℓ/10a)には専用ノズルを使用すること。

- 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は次の注意を守ること。
 - ◆ 散布は散布機種種の散布基準に従って実施すること。
 - ◆ 散布機種種に適合した散布装置を使用すること。
 - ◆ 作業中、薬液が漏れないように機体の配管その他装置の十分な点検を行うこと。
 - ◆ 周辺に水稲以外の作物が栽培されている場合は、無人航空機による本剤の散布は行わないこと。
 - ◆ 水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないように十分注意すること。
 - ◆ 薬剤散布に使用した装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理すること。
 - ◆ 本剤の散布に使用した無人航空機の散布装置は、水稲以外の作物への薬剤散布には使用しないこと。
 - ◆ 散布薬剤の飛散によって、周辺の作物に葉害を生じるおそれがあるので、かからないように十分注意して散布すること。
- 本剤はとうもろこし、食用びえ、ソルガムなどのイネ科作物、キャベツ及びびももの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合にはかからないよう十分注意すること。また、散布田の水田水をこれら作物に灌水しないようにすること。
- 乾燥が続いた条件では除草効果が低下する場合がありますので注意すること。特に、乾田直播水稲に使用する場合は注意すること。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にしてください。特に初めて使用する場合や異常気象時は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けること。
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきることを。散布器具、容器の洗浄水は河川等に流さないこと。また、空容器は水産動物に影響を与えないよう適切に処理すること。

【安全使用上の注意】

- ❖ 誤飲などのないよう注意すること。
- ❖ 魚毒性等：水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないこと。本剤を使用した苗は養魚田に移植しないこと。
無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないように特に注意すること。
- ❖ 保管：直射日光をさけ、なるべく低温な場所に密栓して保管すること。